

平成 29 年度 農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	造園技術	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「造園技術」（文部科学省）（東京電機大学出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、造園工事の特質などを理解して、庭園や公園などの造園施設の基礎的な施工技術や造園の管理方法を学びます。その上で、合理的な施工方法や維持管理するための知識を身につけます。

2 学習の到達目標

- ・造園の特質を理解する。
- ・造園の施工と管理に必要な知識と技術を習得する。
- ・合理的な思考力と問題解決能力を伸ばし、他の分野でも活用できる能力を養成します。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	造園の施工と管理に関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともにその課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	造園の施工と管理に関心を持ち、関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	造園の施工と管理に関する基礎的な技術を身に付け、プロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	造園の施工と管理に関する基礎的な知識を身に付け、環境保全や農林業の持続的な発展に果たす役割を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 自己評価	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、 定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、 定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	造園技術の特色	<ul style="list-style-type: none"> 造園技術の特色について理解し、その技術の種類と技術を学ぶ。 造園施工と管理の役割について理解する。 	○			○	a: 造園の施工と管理についての学び方、造園技術に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 造園の施工と管理についての学び方、造園技術に課題を見出し、その解決に思考を深め、判断・表現する姿勢がみられる。 c: 造園の施工と管理についての学び方、造園技術について基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 造園の施工と管理についての学び方、造園を理解し、基礎的な知識を身につけている。	学習観察 ワークファイルの記述と提出状況 定期考査
	造園植栽施工	<ul style="list-style-type: none"> 植栽とデザインについて、配植のデザインや植栽の方法について理解する。 芝生・花壇の造成技術について学び、理解し、施工できる技術を身に付ける。 	○		○			
1学期・2学期	造園土木施工	<ul style="list-style-type: none"> 敷地の造成と土壌の改良方法について理解し、敷地の造成の施工方法の技術を身に付けます。 コンクリート工事の知識を学び、特性や配合方法を理解し、コンクリートの施工技術を身に付けます。 造園工事における給排水工事を理解する。 各種公共造園施設工の概要について理解し、その技術を学びます。 個人庭園の施設工事について理解し、その施工技術を学びます。 	○	○	○	○	a: 施工と管理についての学び方、造園技術に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 施工と管理についての学び方、造園技術に課題を見出し、その解決に思考を深め、判断・表現する姿勢がみられる。 c: 施工と管理についての学び方、造園技術について基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 施工と管理についての学び方、造園を理解し、基礎的な知識を身につけている。	学習観察 ワークファイルの記述と提出状況 定期考査

